

思いやる

学校だより 令和7年度 4月号



御前崎市牧之原市学校組合立
御前崎中学校

〒421-0533 静岡県牧之原市新庄800番地1 TEL 0548-58-0223

新年度のスタートに

令和7年度がスタートしました。4月7日に始業式・入学式が行われましたが、始業式では、皆さんの様子からやる気と温かい雰囲気を感じることができ、入学式でも凛とした姿が随所に見られました。今年度のスタートも生徒の素晴らしい姿がたくさん見られて本当に嬉しく思います。

さて、写真の銅像を見たことがあるでしょうか。正門の近くにありますね。銅像と言えば地頭方小のように地域の偉人である鈴木梅太郎さんや、全国中にある二之宮尊徳（金次郎）さんの銅像を思い浮かべます。台座のプレートには「昭和57年度卒業生」とありますので、昭和42年生まれ・今年58歳の大先輩の人たちが卒業記念につくってくださったものだとわかります。



ここで問題です。この銅像のタイトルはなんでしょう？ヒントは「〇考」。〇の中に漢字が入ります。どんな漢字だと思いか、まわりの人と話をしてみてください。正解は、黙って考えると書いて「黙考（もっこう）」です。これは、一人で静かに考えを深めるという意味です。確かによい考えができる気がします。

でも、これは昭和53年の話です。私もほぼ同世代ですが、この頃は生徒全員が前を向いて先生の話の静かに聞き、一人黙々と問題を解いて、わかった人が発表するといった授業が多かったように思います。学校にパソコンはありませんでしたし、ChromebookやiPadは存在すらしていませんでした。

私は、令和の時代を生きていく皆さんに「黙考」も大事にして欲しいですが、多様な考えのスタイルを身に付けてもらいたいと思います。令和にふさわしい「〇考」をイメージしてみてください。例えば、「皆考」。一人ではなくて、みんなで考えるというのはどうでしょうか。また、みんなで話し合いをしながら考えを出し合う「話考」。話を聞きながら自分の考えをよりよいものに修正する「聞考」。書きながら考えをまとめていく「書考」。Chromebookに打ち込みながら考えを蓄積していく「打考」などなど…。みなさんには、さらに深化した考える姿ができると思います。【※「黙考」以外はつくった言葉です】

本年度も、学校の重点目標＝合い言葉は『考動（こうどう）～トライ&エラー～』です。今日から仲間と一緒に考え行動して、楽しく充実した学校生活を送ることを期待しています。（校長 伊藤良典）



御前崎中教職員

学習支援員	学習支援員	事務員	用務員	SSS	特別支援学級支援	特別支援学級支援 非常勤講師			
坂本真規子	岩倉 由子	佐々木和代	清水 潤	松林三枝子	縄巻みち子	木村 香丹			
1年主任 松下 裕伸	3組担任 1年副主任 高塚裕三子	1年1組担任 諸星 隼	1年2組担任 杉田 果穂	1年3組担任 森下陽日季	1年担当 池ヶ谷将彦	育休 石原 功基	育休 清水 志保		
2年主任 池谷 貴弘	2年副主任 酒井 陽介	2年1組担任 伊藤 蘭正	2年2組担任 高野 滯	2年3組担任 北條 賢佑	7組担任 高塚由美香	2年担当 鈴木 望	養護教諭 石原 早織	図書館司書 下村 直己	
3年主任 山口 祐輔	進路指導主事 3年副主任 山本名菜子	3年1組担任 松塚 早希	教務主任 横山 知代	校長 伊藤 良典	教頭 春田 基行	3年2組担任 坂ノ下直生	3年3組担任 船津 聖土	3年4組担任 生徒指導主事 伊藤 拓史	事務主査 土屋めぐみ

よろしくお願いいたします。



*年間計画・月計画(日課・部活動・下校時間等)・給食献立表はホームページに掲載しています。